



地球から太陽系までのきよりを教えて

太陽系のわく星は地球も入れて9つ

太陽系とは、太陽とその周りを回るわく星、小わく星、すい星や、わく星の周りを回る衛星などの天体の集まりです。

わく星は、地球と同じように太陽の周りを回る天体で、今では9つあることが知られています。

地球から太陽までのきより

地球から太陽までのきよりは、一年の間に少し変わります。それは、太陽を中心に回っている地球の軌道（通り道）が、完全な円形ではなく、少しつぶれた、だ円だからです。

そして、平均きよりは、1億4960万キロメートルで、このきよりを1天文単位といいます。

地球からわく星までのきより

地球もほかのわく星も、太陽の周りを回っているので、そのきよりは、いつも変化しています。いちばん外側の、めい王星と太陽のきよりは、約5億9000万キロメートルから、約7億4000万キロメートルの間で変化します。したがって、地球とめい王星のきよりも、約4億4000万キロメートルから、約8億9000万キロメートルの間で変化します。

また、めい王星の軌道の外側から、太陽に接近するすい星もあり、これらのすい星と地球のきよりも、いつも変化しています。（監修・国司 真）

